

避難時の協力

❗ 災害時には、自力での避難が難しく、支援を必要とする人たちがいる

❗ 地域全体による避難支援体制で、「災害犠牲者ゼロ」を目指す

誰一人取り残さないために

災害による犠牲者の多くは、自分の力で避難する事が困難な人たちです。避難できずに災害に巻き込まれて犠牲になるだけではなく（直接死）、避難できたとしても避難先で適切なケアが受けられずに亡くなってしまうケース（災害関連死）も多く見られます。

「災害犠牲者ゼロ」を実現するためには、地域ぐるみの避難支援が不可欠です。



要配慮者の中でも自力避難が困難で、支援が必要な人

高齢者、障がい者、乳幼児などの特に配慮が必要な人

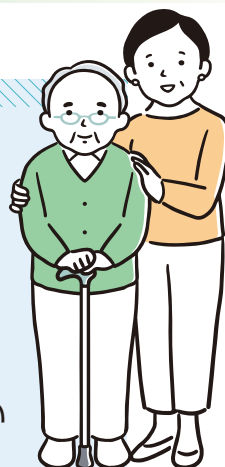
要配慮者への協力例

危険を察知しにくい人	目の不自由な人	・手の空いている側へまわり、肘の上をつかんでもらいゆっくり歩く ・階段などの障害物を説明しながら進む	
	耳の不自由な人	・口を大きく動かし、はっきりと話す ・筆談をする ・身振り手振りで、情報を伝える	
危険なことを理解・判断しにくい人	高齢者	・複数人で対応する ・緊急時には背負うなどして避難	
	外国人	・日本語でいいので、声をかける ・身振り手振りで、情報を伝える ・可能な限り避難行動を共にし、孤立させない	
危険に対して適切な行動がとりにくい人	車いす利用者	・坂道を上がるときは前向き、降りるときは後ろ向き ・階段では可能な限り3人以上で協力する	
	妊婦・乳幼児	・体調に気を配る ・足元などに注意して、ゆっくり先導する	

自分の力で逃げるできない方へ

災害時に支援を受けやすくなるよう、あなたの「災害時見守り情報個別票」を避難支援者へ渡すことに同意してください。（この個別票は「避難行動要支援者名簿の登録申請書」と「避難支援者への情報提供に関する同意書」を兼ねています。）

詳しい内容については、市のホームページを確認してください



地域の皆様へ

地域での避難支援体制づくりにご理解・ご協力をお願いします



災害への備え



地震



洪水・土砂災害



避難所一覧